



川俣小学校「学校だより」

# 輝くひとみ

令和2年1月17日(金) 第34号

教育目標

- ☆すすんで学ぶ子ども
- ☆思いやりのある子ども
- ☆ねばり強い子ども
- ☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



## 新学習指導要領全面実施を前に



約10年に1度の学習指導要領改訂(H29告示)を受け、小学校では次年度から、5・6年外国語70時間やプログラミング学習必修などを含む内容と授業時数等が全面実施となります。



昨日も5年生が休み時間に、プログラミング学習で行った内容をコンピュータを使って楽しそうに行っていました。先行して意欲的に取り組んでいる姿に頼もしさを感じます。今回の改訂は、グローバル化や人工知能の進化、社会構造等の変化の中でもたくましく生き抜く人間の育成をめざす改訂内容の学習指導要領でしたが、過去には、「生活科の新設」(H1告示 H4実施)、「総合的な学習の時間の導入」(H10告示 H14実施)、「外国語活動の導入」(H20告示 H23実施)などが、その時代時代を反映し新設・導入されてきました。



三十数年前の家庭訪問の時に「教科書を見ると、今の勉強は昔と違うから、なかなか教えられなくて・・・」という言葉が保護者からよく聞きました。教科等の種類も内容も時数も教科書も、学習指導要領改訂に伴い変わるので、親と子の世代間でそのようなことが起きるのだなと感じています。学校では、次年度全面実施に向け、町教委と連携しながら諸整備・準備、研修等に努めています。



## 鼓笛隊顔合わせ会

先日、新旧鼓笛パートメンバーの顔合わせがありました。これから新旧鼓笛隊の「のりしろ部分」の練習が始まります。6年生からは川俣小鼓笛隊の伝統をしっかりと伝えていくという使命感が、3～5年生からは6年生がいなくなった鼓笛隊をこれからは自分たちで立派に仕上げていかなくはという緊張感等が、それぞれの表情から伝わってきました。どちらにしても、川俣小鼓笛隊の、また自分自身に「誇りと自信」がもてる鼓笛移杖式に向け、しっかり取り組めるようにしたいと思います。



## 勉強するスイッチ



宿題を前にして「勉強するスイッチがあればいいのに。」と子どもの頃あるいは親になってから思ったことはないでしょうか。そのような便利なスイッチはないにしても、それに近いことがあるようなのです。それは、①勉強できる(するしかない)環境をつくる。②問題集を開いておくなど、すぐに勉強を始める態勢をつくる。③時間でなく内容の終わりを決める。

受験勉強等にも生かせる「勉強する自分づくり」作戦を今のうちから行ってみたいはいかがでしょうか。